

重症心身障害の今と未来

日時 平成 30 年 2 月 3 日 (土)

開会 : 13 時 30 分

講演 1 13 時 35 分 「愛知県における重症心身障害のある人と
家族の概要」

愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所
教育福祉学部 主任研究員 長谷川 桜子
所長 中山 敦雄

講演 2 14 時 15 分 「重症心身障害の治療と予防への試み」

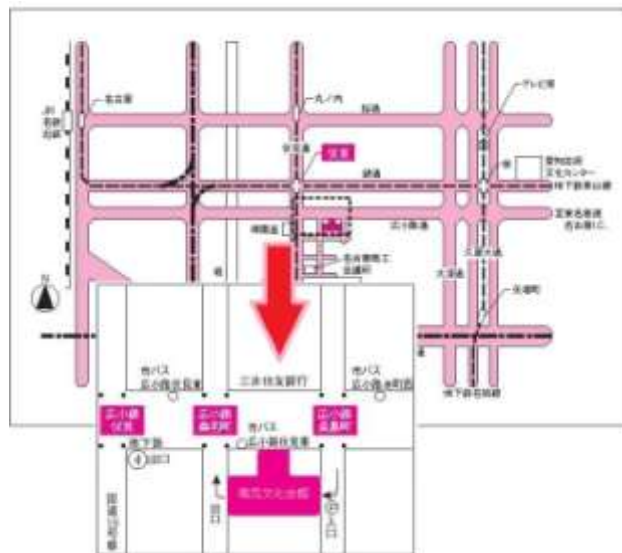
愛知県心身障害者コロニー 中央病院 施設診療部
医長 中西 圭子

講演 3 15 時 10 分 「重症心身障害児者施設と
ノーマリゼーション」

愛知県心身障害者コロニー こぼと学園
園長 麻生 幸三郎

全体討論 16 時 00 分

閉会 : 16 時 30 分



会場 電気文化会館イベントホール

住所 : 名古屋市中区栄 2-2-5

電話 : (052) 204-1133

交通 : 地下鉄 東山線・鶴舞線「伏見」駅 4 番出口より徒歩 2 分

主催 : 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 TEL(0568)88-0811(内線 3503)

共催 : 愛知県心身障害者コロニー 中央病院 こぼと学園

平成29年度 発達障害研究所県民講座

【テーマ】重症心身障害の今と未来

講義 1. 「愛知県における重症心身障害のある人と家族の概要」

長谷川 桜子：愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 主任研究員

中山 敦雄：愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 所長

児童福祉法上、重度の知的障害と重度の肢体不自由を併せもっている児童を重症心身障害児といいますが、息をしたり食事をするのにも障害のあることが少なくなく、幼いうちに亡くなる人も珍しくありません。いのちをつなぐために、生まれてから長い間、病院で暮らす人もあります。一方で、愛知県では名古屋市を含めて2,000人以上の重症心身障害のある子どもと成人が地域で暮らしています。人工呼吸器を使いながら自宅で生活している人もいます。ここでは重症心身障害のある県民を対象に行った調査から、地域で生活する人と家族の実態を主にご紹介します。

講義 2. 「重症心身障害の治療と予防への試み」

中西 圭子：愛知県心身障害者コロニー 中央病院 施設診療部 医長

重症児（者）は「重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複する児童」と、児童福祉法に定義されています。そのような状態は胎児期～小児期における脳損傷によって引き起こされることがほとんどです。この講義では、重症児（者）に対する治療の現状とその主な原因である脳損傷に対する予防への試みについて、概説します。

講義 3. 「重症心身障害児者施設とノーマリゼーション」

麻生 幸三郎：愛知県心身障害者コロニー こばと学園 園長

重症心身障害児者のノーマリゼーションはどのような形で実現されうるのか、重症心身障害児者施設を運営する立場から考えてみたいと思います。

● 申込方法

往復はがき(返信先住所の記入をお願い致します、返信用裏面は無記入でお願いします。)

FAX(返信先FAX番号を明記)

住所、氏名、電話番号(FAX申込の場合はFAX番号)、参加人数を記入の上、お申してください。

● 申込先

〒480-0392 春日井市神屋町713-8

愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所(研究企画調整科)

TEL 0568-88-0811(内線3503) FAX 0568-88-0829

● 定員 150名

(応募多数の場合は申込先着順にて締め切らせていただきます。)

● 申込期限 平成30年1月12日(金) 消印有効



愛知県心身障害者コロニー
発達障害研究所